

120725 アサギマダラ

ついに「アサギマダラ」の接写に成功しました。

これまで何度も出会ったことはあったのですが、いつも鮮明な写真を撮ることができずに悔しい思いをしていました。

でも...

今回はたくさんの個体がいまいたので、その中にはのんびりと低いところで羽を休めている、“被写体”としては最適なものもいたのです。

さて、このチョウ、前翅長は5～6cmほどとアゲハチョウよりも大きく、斑紋部分は白っぽく、胴体はまだら模様です。

白っぽい部分を詳細に観察すると、鱗粉(りんぷん)が少なく、半透明の水色であることがわかります。

和名にある「浅葱」(あさぎ)とは青緑色の古称で、この部分の色が命名の由来になっているのでしょうか。

また、このチョウの幼虫は毒のある「ガガイモ科」の植物を食草としていますので、成虫になっても体に毒をもっているのでしょうか、そのために鳥に襲われる心配がありませんので、大きな羽をゆっくりとはばたかせ、まるでハングライダーのように風や上昇気流に乗って移動するのです。

そして、その移動距離も半端ではありません...

石川県能登半島から台湾まで、福島県から宮古列島まで、というように実に2,000kmも移動した記録さえあるのです。

夏になると、高原や山頂部に集まる傾向があるので、今回も金剛山頂付近の「ちはや園地」で撮影しました。



















